

## 令和3年度の各種機関との連携事業について

## 1. 仙台・宮城ミュージアムアライアンス（SMMA）における当館の活動

## ※SMMA参加機関（17館）

スリーエム仙台市科学館／仙台うみの杜水族館／せんだい3.11メモリアル交流館／仙台市縄文の森広場／仙台市天文台／仙台市富沢遺跡保存館／仙台市博物館／八木山動物公園フジサキの杜（仙台市八木山動物公園）／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／せんだいメディアテーク／東北学院大学博物館／東北大学学術資源研究公開センター（東北大学総合学術博物館・東北大学史料館・東北大学植物園）／東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館／東北福祉大学・鉄道交流ステーション／仙台市教育委員会（生涯学習部）

## (1) 事務局の一員として運営に参画

## (2) 研修担当として研修会や情報交換会を主催

SMMA研修会（オンライン研修）

日時：令和3年11月11日（木）15：00～16：30

会場：せんだいメディアテーク

内容：「ミュージアムでのバリアフリー対応について～聴覚障害とコミュニケーション～」

講師：松本隆一氏（宮城県聴覚障害者情報センター 施設長）

参加者：SMMA参加館、歴ネット参加館職員 合計25名

## (3) イベントに参加

## ① SMMA「ミュージアムユニバース」

期間：令和3年12月18日（土）～26日（日）

会場：せんだいメディアテーク

内容：「展示の広場」でのパネルや仙台の伝統的な門松（複製）の展示、「体験の広場」でのワークショップ参加「ミニ屏風づくり」（参加25人）「もんきり遊び」（参加35人）

## ② こどもたちとひらく未来のミュージアム（SMMA×こども☆ひかりプロジェクト）

→新型コロナウイルス感染拡大防止のためワークショップ、エクスカージョンは中止となったが、シンポジウムはオンラインで開催された

日時：令和4年1月22日（土）14：00～16：30

会場：せんだいメディアテーク

## (4) SMMA冊子『ちまたのけんきゅうミュージアム[テーマ：あな]』執筆分担

部数：10,000部

発行：令和3年12月18日（土）

その他：仙台市内で採用している小学校2学年国語科の教科書に「あなのやくわり」という学習教材があり、市内外の学校から冊子について問い合わせがあった。参考図書としても活用できることを周知するため、市内の教職員向けに冊子のPRを行った。

## 2. 仙台歴史ミュージアムネットワーク（歴ネット）における当館の活動

## ※歴ネット参加機関（9館）

地底の森ミュージアム／仙台市縄文の森広場／仙台市博物館／仙台城見聞館／瑞鳳殿／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／仙台市戦災復興記念館／史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設

(1)事務局として運営を担当

(2)歴ネットクイズラリー

期間：令和3年10月9日（土）～令和4年1月30日（日）

会場：仙台市富沢遺跡保存館（地底の森ミュージアム）、仙台市縄文の森広場、瑞鳳殿  
仙台城見聞館、仙台文学館、仙台市歴史民俗資料館、史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設

※仙台市博物館、仙台市戦災復興記念館は、休館中のため会場にはならなかった。

内容：歴ネット各館（7館）展示室内にあるクイズに答えてスタンプを集める。4館・7館達成者にはオリジナルグッズをプレゼントする。

台紙配布数：5,913枚 4館達成者：224人 7館（全館）達成者：132人

その他：SMMA申請による文化庁文化芸術振興費補助金事業の一環として、台紙やスタンプを新規作成した。

(3)歴ネットイベント「仙台の伝統的な門松を復元」

期間：令和3年12月18日（土）～令和4年2月13日（日） ※展示期間は館ごとに設定

会場：仙台市富沢遺跡保存館（地底の森ミュージアム）、仙台市縄文の森広場、瑞鳳殿、  
仙台文学館、仙台市歴史民俗資料館、史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設

※仙台市博物館は休館中のため、せんだいメディアテークで開催した「ミュージアムユニバーズ」会場内で展示した。

内容：仙台の伝統的な門松を復元し、歴ネット各館等（7館）で展示する。

研修：「ケンダイ（しめ縄）作り」令和3年12月8日（水）13:00～16:00 仙台市縄文の森広場

その他：SMMA申請による文化芸術振興費補助金事業の一環として、「仙台の伝統的な門松」が出来上がるまでの様子を伝える映像制作に、地元の映像クリエイターとともに取り組んだ。映像は、伝統的な門松を受け継いでいる旧家の方の協力を得て収録し、門松が四季折々の様々な過程を経て出来上がっていることや、門松を作る技術が長い年月をかけて受け継がれてきたことを伝える内容となっている。3月中にせんだいTubeにて配信予定。